

2月14日
平和の道
ローマ3章9～20節

3:9 では、どうなのでしょう。私たちは他の者にまざっているのでしょうか。

決してそうではありません。私たちは前に、ユダヤ人もギリシヤ人も、すべての人が罪の下にあると責めたのです。

3:10 それは、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもいない。

3:11 悟りのある人はいない。
神を求める人はいない。

3:12 すべての人が迷い出て、みな、ともに
無益な者となった。善を行なう人はいない。
ひとりもいない。」

3:13 「彼らののは、開いた墓であり、
彼らはその舌で欺く。」「彼らのくちびるの
下には、まむしの毒があり、」

3:14 「彼らの口は、のろいと苦さで満ちている。」

3:15 「彼らの足は血を流すのに速く、

3:16 彼らの道には破壊と悲惨がある。

3:17 また、彼らは平和の道を知らない。」

3:18 「彼らの目の前には、神に対する
恐れがない。」

3:19 さて、私たちは、律法の言うことはみな、律法の下に
ある人々に対して言われている
ことを知っています。それは、
すべての口がふさがれて、
全世界が神のさばきに服するためです。

3:20 なぜなら、律法を行なうことによって、
だれひとり神の前に
義と認められないからです。
律法によっては、
かえって罪の意識が生じるのです。

先週からローマ3章を学んでいます。

3章19～20節で

「それは、すべての口がふさがれて、
全世界が神のさばきに服するためです。
なぜなら、律法を行なうことによって、
だれひとり神の前に義と認められない
からです。」

と書かれています。

その証明に10～18節で旧約聖書を引用して
全ての人は罪人、神の前に正しい人、
義なる人はいない。
ユダヤ人も異邦人も
金持ちも貧乏も
先進国も発展途上国も
知的な人もそうでない人も
全ては罪人、行いによって正しいと
認定される人は歴史上誰もいない、
一人も存在しないと論証しています。

10～18節で旧約聖書が引用されています。
義人はいない、一人もいない。

喉は開いた墓、
舌で欺く、
唇の下にはマムシの毒
口にはのろいと苦み
足は血を流すのに早い
道には破壊と悲惨

彼らは平和の道を知らない
知恵があっても律法を知っていても
平和の道、平和の生活を知らない。
平和を与える神様との交わりを持って
いないことが問題と指摘しています。

平和の道、平和を知らない
一人の人物
を聖書から紹介
その名はヘロデ大王

マタイ2章

2:1 イエスが、ヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東方の博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。

2:2 「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにおいてになりますか。私たちは、東のほうでその方の星を見たので、拝みにまいりました。」

2:3 それを聞いて、ヘロデ王は恐れ惑った。エルサレム中の人も王と同様であった。

2:4 そこで、王は、民の祭司長たち、学者たちをみな集めて、キリストはどこで生まれるのかと問いただした。

2:5 彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。
預言者によってこう書かれているからです。

2:6 『ユダの地、ベツレヘム。あなたはユダを治める者たちの中で、決して一番小さくはない。わたしの民イスラエルを治める支配者が、あなたから出るのだから。』」

2:7 そこで、ヘロデはひそかに博士たちを呼んで、彼らから星の出現の時間を突き止めた。

2:8 そして、こう言って彼らをベツレヘムに送った。「行って幼子のことを詳しく調べ、わかったら知らせてもらいたい。私も行って拝むから。」

2:9 彼らは王の言ったことを聞いて出かけた。
すると、見よ、東方で見た星が彼らを先導し、
ついに幼子のおられる所まで進んで行き、
その上にとどまった。

2:10 その星を見て、彼らはこの上もなく喜んだ。

2:11 そしてその家にはいって、母マリヤとともに
おられる幼子を見、ひれ伏して拝んだ。

そして、宝の箱をあけて、黄金、乳香、没薬を
贈り物としてささげた。

2:12 それから、夢でヘロデのところへ戻るな
という戒めを受けたので、別の道から
自分の国へ帰って行った。

2:13 彼らが帰って行ったとき、見よ、主の使いが夢でヨセフに現われて言った。「立って、幼子とその母を連れ、エジプトへ逃げなさい。そして、私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を捜し出して殺そうとしています。」そこで、ヨセフは立って、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトに立ちのき、
2:15 ヘロデが死ぬまでそこにいた。これは、主が預言者を通して、「わたしはエジプトから、わたしの子を呼び出した。」と言われた事が成就するためであった。

2:16 その後、ヘロデは、博士たちにだまされたことが
わかると、非常におこって、人をやって、ベツレヘムと
その近辺の二歳以下の男の子をひとり残らず殺さ
せた。その年齢は博士たちから突き止めておいた
時間から割り出したのである。

ヘロデは平和の道、平和の神様を
知らない
喉は開いた墓
舌は欺き
唇の下にはマムシの毒
口にはのろいと苦み
足は流血に早く、破壊と悲惨がある人物。

博士がユダヤの王として生まれたイエス様を
礼拝するために来たことを知った時
ヘロデの心は動揺しています。
新しい王、自分の地位を脅かすものと
心は恐れています。

口先では
私も行って拝むから
とっています。心で殺意を持ちながら
口では行って拝みますと言う。
喉は開いた墓、舌は欺き、

ヘロデは、博士たちにだまされたことが
わかると、非常におこって、人をやって、
ベツレヘムとその近辺の二歳以下の
男の子をひとり残らず殺させた。

唇の下にはマムシの毒
口にはのろいと苦み
足は流血に早く、破壊と悲惨がある

この時マムシの毒のようなヘロデに
いのちを狙われた新しい王、
イエス様こそ
マムシの毒を抜き、
開いた墓、欺きから人を救い出す
平和の道のお方です。

イザヤ11章1～9節

11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

11:2 その上に、【主】の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と【主】を恐れる霊である。

11:3 この方は【主】を恐れることを喜び、その目の見るところによってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、

11:4 正義をもって寄るべのない者をさばき、公正をもって国の貧しい者のために判決を下し、口のむちで国を打ち、くちびるの息で悪者を殺す。

11:5 正義はその腰の帯となり、真実はその胴の帯となる。

11:6 狼は子羊とともに宿り、ひょうは子やぎとともに伏し、子牛、若獅子、肥えた家畜が共にいて、小さい子どもがこれを追っていく。

11:7 雌牛と熊とは共に草をはみ、その子らは共に
伏し、獅子も牛のようにわらを食う。

11:8 乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離れ
した子はまむしの子に手を伸べる。

11:9 わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは
害を加えず、そこなわない。【主】を知ることが、海
をおおう水のように、地を満たすからである。

ここはクリスマスのアドベントの
時に読まれる聖書です。

11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から
若枝が出て実を結ぶ。

11:2 その上に、【主】の霊がとどまる。

この方はイエス様を指しています。
イエス様に主の霊、神様の霊が
とどまっています。
イエス様は霊なる神様が
人となってくださいました。

イエス様は
知恵と悟りの霊
思慮と力の霊
主を恐れる知識の霊
に満ちておられ、
イエス様を信じ、心に受け入れる時
私たちの心にその霊が宿ってくださいます。

神様の霊、聖霊を心に受け入れて
主を知る、主と交わって生きる時に
ここで約束されている恵み、
罪の支配、力から解放されて
平和に生きる力を受けることができます。

イエス様ご自身は
「正義はその腰の帯となり、
真実はその胴の帯となる。」
とイザヤ書11章5節で呼ばれる
正義、真実のお方、
まさに平和のお方であられ、
平和をもたらすお方であられます。

雌牛と熊とは共に草をはみ、

その子らは共に伏し、

獅子も牛のようにわらを食う。

乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、

乳離れした子はまむしの子に手を伸べる。

このイエス様を信じる時に初めて

雌牛と熊の平和

獅子と牛の平和

乳飲み子とコブラの平和

乳離れした子とマムシの平和が到来します。

コロナウィルスはワクチンで抑えられる
かもしれません。

しかしコブラの毒やマムシの毒、
熊の爪、ライオンの牙のような
私たちの心、舌、喉、口を支配している
罪の力を抑える薬はありません。

クリスマスにこの世界に来てくださった
救い主イエス様にのみ
罪の力を抑える平和の道、
霊の力があります。

イエス様を心の王座にお迎えして
平和、平安をいただき
心を聖めていただき
攻撃的な熊やライオンのような私たちを
平和に生きるしもべに変えてくださいます。

**【主】を知ることが、海をおおう水のように、
地を満たすからである。**

**主イエス様を信じ心にお迎えして
体験的にイエス様を知っていきましょう。**

**心に住んでくださる聖霊様の御声を
聞いて主イエス様を**

人格的に深く知るようになりましょう。

神様から啓示されたみ言葉、聖書を

通してお祈りして、交わって

主イエス様を親しく知って、いきましょう。

かつては猛毒を持ったものを
変えていただき
聖めていただいて

幼子と共に歩める平和のしもべと
変えてくださったことを感謝しましょう。
人を生まれ変わらせる福音を伝えて
多くの方が新生、新しい命の恵みに
預かって行かれるように祈りましょう。

祈り

主イエス様、あなた様を信じ、救われる以前の私
たちは、まさに口は開いた墓、唇にはマムシの毒、
コブラの猛毒のある罪人でした。

こんな私たちも救いに主イエス様を心に受け入れ
て人生を新しくしてくださり、羊のように柔和なもの
としてくださったことを心から感謝します。ただ一つの
道、平和なるイエス様をお迎えしたときに平和の人生
を送ることができることを信じます。多くの方々が
このイエス様の救いの恵みにあずかって行かれるよ
うに。この教会を、また私たちを用いてください。主
イエス様の御名によって。アーメン。